

令和 5 年 9 月 定例会 行政報告

1 . 一 般 行 政 報 告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 作況状況について
- 4) 令和 5 年度建設工事の発注状況について

令和 5 年 9 月 1 1 日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、6月定例会以後の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、根室地方総合開発期成会としての要請活動であります。

根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言として、地域基幹産業の振興と基盤整備の促進、産業や暮らしを支える社会基盤整備の促進、国土の保全、自然環境の保全・整備と利活用の促進、安全・安心な地域づくりの推進、北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の推進、教育・文化施設等の整備促進などの重点要望に関して 釧路・札幌・中央の各段階におきまして要請活動を実施いたしました。

6月27日には、北海道開発局 釧路開発建設部、釧路総合振興局 釧路建設管理部に、7月10日には 北海道、北海道議会及び北海道開発局に、翌11日には 国土交通省、農林水産省など 関係各省庁をはじめ地元選出国會議員に対し、要請を行いました。

併せて釧根トライアングル整備構想 連絡会議として、防災・減災、国土強靱化等の着実な実施と予算確保、国土強靱化事業計画に基づく橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の推進、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消、4車線化等とダブルネットワークの構築などについて要請を行いました。

2) 次に、中標津空港利用促進期成会としての要請活動であります。

前段の根室地方総合開発期成会の要請日程にあわせ、7月12日に全日本空輸株式会社 東京本社に対し、「中標津空港の利用促進に関する要望」として、ポストコロナでの需要回復と更なる利用拡大に向け、東京線及び新千歳線の路線維持、並びに新規路線の開設、また地域との連携強化により実行される中標津空港利用促進事業の推進について要請を行いました。

2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、6月定例会後に、

物品で	2件	
現金で	1件	3,000,000円
ふるさと納税で	806件	16,468,000円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

3. 作況状況について

次に、3点目は、作況状況についてであります。

根室農業改良普及センター北根室支所が9月7日に公表しました、9月1日現在の各作物の生育状況によりますと、牧草につきましては、草丈は97センチメートルで、平年に比べ9センチ程高く、生育は順

調とのことです。

飼料用トウモロコシにつきましては、草丈は266センチメートルで、平年に比べ19センチ程高く、生育は順調であります^{ねぐされびょう}が、根腐病発生の可能性があり、発生の程度によっては早期の収穫が必要とのことです。

馬鈴しょにつきましては、平年より7日早く、てん菜につきましては、5日早い生育となっておりますが、今後は、疫病のまん延防止に係る防除体制の徹底が必要とのことです。

大根とブロッコリーにつきましては、例年7月中旬から10月上旬まで順次収穫を行っておりますが、大根、ブロッコリー共に^{なんぷびょう}軟腐病などの発生が懸念されており、猛暑による品質低下が伝えられております。

近年の天候は、過去の観測状況が通用しなく、今後も台風をはじめ天候の影響が心配ではありますが、穏やかに豊穰の秋が迎えられることを願っているところです。

次に、生乳の生産状況についてですが、中標津町管内の4月から7月までの累計生乳生産状況では、対前年比99.3%となっており、生乳生産抑制に加えて、今年は例年になく暑さも影響しているとの見解も示されており、昨年に比べ4.9ポイントの減で推移しているところです。

農業情勢については、ウクライナ情勢や円安など、引き続き国内外の情勢を注視しながら、両農協をはじめ、各関係団体と連携しながら対応して参りたいと考えております。

4. 令和5年度建設工事の発注状況について

次に、4点目の令和5年度建設工事の発注状況についてであります
が、令和5年8月31日現在でご報告申し上げます。

令和5年度の発注計画は、件数156件、金額にしまして、
27億2,018万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で120件、率にしまして、
77%となっております。

金額では、21億4,177万円、率にしまして、79%の発注と
なっております。

以上、4点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。